

科目名 (科目番号)	地域・在宅看護概論	教員名 福田久子	学科等	看護	必修	履修年次	2
	(時間割参照)		曜日・時限等	時間割表参照	単位数	2	
			授業形態	講義	オフィスアワー	A314研究室(福田)	
授業概要	現代における地域・在宅看護の社会背景や、地域・在宅看護に関連する保健・医療・福祉の法律や制度、社会資源について学修する。また、在宅療養者を含めた、地域で生活する人々やその家族を対象として、地域・在宅看護の提供に必要な理論を踏まえて学びを深めていく。						
目的・目標	目的:地域・在宅看護の歴史や地域・在宅看護が必要とされる社会的な背景を踏まえ、地域で生活する療養者やその家族を支える地域・在宅看護の役割や課題について理解する。 目標:①地域・在宅看護が必要とされる背景と在宅看護の概念について理解できる。 ②地域・在宅看護の対象、看護活動の特性、地域や関連職種との連携について理解できる。 ③地域・在宅看護の展開に必要な法律・制度・社会資源について理解できる。						
準備学習	毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること。						
授業計画	回	授業項目	到達目標・学習内容				
	1	オリエンテーション 人々の暮らしの理解	到達目標:看護の対象者を日々暮らしを営んでいる生活者として理解する。 学習内容:看護の対象者の暮らしと健康との関係について学ぶ。				
	2	地域・在宅看護の役割	到達目標:地域・在宅看護が重視される社会背景から看護師の役割を理解する。 学習内容:地域・在宅看護に求められる役割について学ぶ。				
	3	地域の理解(1)	到達目標:人々の暮らしの理解をふまえ、地域とはなにかを理解する 学習内容:暮らしは地域の特性に大きな影響を受けていることを学ぶ。				
	4	地域の理解(2)	到達目標:地域包括ケアシステムの概要と看護職の役割や協働の必要性について理解する。 学習内容:地域包括ケアシステム、地域共生社会について学ぶ。				
	5	地域・在宅看護の対象者(1)	到達目標:地域・在宅で療養している対象を理解し、その特徴や援助の内容を理解する。 学習内容:地域・在宅看護の対象者の特徴について学ぶ。				
	6	地域・在宅看護の対象者(2)	到達目標:地域・在宅看護が家族を対象とする意味やその援助内容を説明できる。 学習内容:地域・在宅看護の対象者としての家族の特徴について学ぶ。				
	7	暮らしを支える地域・在宅看護(1)	到達目標:地域に暮らす人々とその家族の多様な健康ニーズと看護の役割を理解する。 学習内容:暮らしを支える看護、暮らしにおける環境の重要性について学ぶ。				
	8	暮らしを支える地域・在宅看護(2)	到達目標:各ライフステージにある人々の特徴を理解し、ライフステージに応じた看護の役割を理解する。 学習内容:地域におけるライフステージに応じた看護について学ぶ。				
	9	地域・在宅看護における安全管理	到達目標:暮らしの中での安全管理を理解し、援助時の安全確保の方策を考えることができる。 学習内容:地域・在宅看護における安全管理(リスク、医療事故防止、感染防止、災害時)について学ぶ。				
	10	地域・在宅看護実践の場と連携	到達目標:地域・在宅で連携する機関や職種及びその役割を理解し、連携の必要性を説明できる。 学習内容:地域・在宅における連携の特徴と連携の必要性について学ぶ。				
	11	地域・在宅看護における制度(1)	到達目標:介護保険制度及び医療保険制度について理解し説明できる。 学習内容:介護保険制度及び医療保険制度のサービスの内容及び利用方法について学ぶ。				
	12	地域・在宅看護における制度(2)	到達目標:地域・在宅看護を提供する訪問看護制度仕組みについて理解する。 学習内容:訪問看護制度の創設と発展経緯、ケアマネジメントについて学ぶ。				
	13	地域・在宅看護における制度(3)	到達目標:地域・在宅療養者が利用できる制度や法律、社会資源について説明できる。 学習内容:地域・在宅看護に関連する法律および制度を学ぶ。 ①高齢者の医療制度 ②高齢者虐待防止法 ③障害者基本法・障害者総合支援法				
	14	地域・在宅看護における制度(4)	到達目標:地域・在宅療養者が利用できる制度や法律、社会資源について説明できる。 学習内容:地域・在宅看護に関連する法律および制度を学ぶ。 ④難病法 ⑤成年後見制度 ⑥権利保障に関する制度				
	15	ケアマネジメントの実践	到達目標:ケアマネジメントの実践を理解し、介護支援専門員の機能と役割をまとめることができる。 学習内容:招聘講師による講義「介護保険制度におけるケアマネジメント」について学ぶ。 (外部講師:つくばみらい市社会福祉協議会 主任介護支援専門員 柴山亮氏)				
成績評価の方法・基準	対面・オンライン共通:小テスト(20%)、レポート(20%)、筆記試験(60%)で評価する。						
教科書	系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護の基盤 地域・在宅看護論1		河原加代子 著者代表		医学書院		
参考図書	1.ナースング・グラフィック 地域療養を支えるケア 第8版 2.ナースング・グラフィック 地域療養を支える技術 第3版 3.強みと弱みからみた地域・在宅看護過程 第2版		1.臺有佳 ほか編 2.臺有佳 ほか編 3.河野あゆみ 他編		1.メディカ出版 2.メディカ出版 3.医学書院		
教員からのメッセージ	地域・在宅で療養している方へを援助するために必要な知識を学び、幅広い視野を持つことができる看護学生になることを期待しています。招聘講師の講義ではレポート課題を課します。提出のあったレポートはコメントを付して授業内で返却します。病院で看護師として勤務し、訪問看護ステーションにて実務研修の経験がある教員がこの授業を担当します。オンライン授業等に伴い授業計画に変更がある場合は、オンラインクラスで変更のシラバスを周知いたします。						